

平成29年度自己評価及び学校関係者評価書

1 本年度の学校評価をふりかえって

秋商キャリア教育をもとに、日々の授業を大切に、ビジネス実践や外部講師などを活用して、社会人基礎力を身に付けさせ、主体的に物事を考えさせる取り組みをしている。

教職員は、一人一人が高い意識を持ち、学校全体として取り組んでいる。今後も商業高校の教育の特色を活かし、秋田県商業教育の中心校としてその役割を果たすべく、保護者アンケートを参考に自己評価と学校関係者の意見を真摯に受け止め学校の発展に努めていきたい。

2 評価結果の概要

分野	評価項目	取り組み状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
本年度の目標	キャリア教育構造図の具体的実践と改善	・商業科の資格取得率向上と理解を深めるための「特別時間割」を計画して実施した。 ・「全国産業教育フェア秋田大会」や「ねんりんピック秋田2017」と連携し活動した。	B	・各コースの柱となる資格を設定し、特色を生かす高度な資格取得に取り組む。 ・ビジネス実践のあり方について検討する。	・高度な資格取得を実現することよりも卒業して、すぐに実務ができる実践力が必要。
教育課程・学習指導	基礎学力の定着と資格取得に向けた取り組みの充実 研修部と連携した研究授業の推進、および「わかる授業」を目指した「授業改善」への取り組み	・「チャイムで始まる授業」を職員会議等で再確認したい。 ・進路指導部と連携し、基礎学力向上テスト返却時の解説や、合格点に満たない生徒への指導を実施した。 ・「特別時間割」は、全職員の理解と協力の下で計画的に作成し実施することができた。	A	・「チャイムで始まる授業」を呼びかける。 ・授業改善に向けて授業公開週間では率先して課題に取り組む。 ・「特別時間割」実施上の問題点や課題・成果を検証し、次年度も実施を検討する。	・商業の特色のある授業が外部に広報できる方法が必要。 ・資格取得ばかりを意識せず商業高校生としての実践力を身につけてほしい。
進路指導	進路意識の早期確立と学年進行に応じた継続的な進路指導の促進	・2・3年部の職員間で、進路情報交換会を実施して共通理解を深めるとともに、外部からの情報収集に努めた。 ・各学年で随時講演等を行った。「企業紹介講話」は講師を1社に絞って実施する。	B	・高大接続改革等についての情報を収集し、準備を進める。 ・進学調査書の表記内容改善のために「調査書資料作成委員会」を開催して検討する。	・進路実現に向けた取り組みを今後とも継続してほしい。
生徒指導	礼儀・規律・公共心と自己有用感の育成、および問題行動への対応の充実 いじめ防止の取り組みの充実	・関係機関との連絡を密にして情報提供を図るとともに、事故防止に向けた注意喚起を行っている。 ・学校生活アンケートの実施や校門指導・盗難防止の見回り等、小さなサインを見逃さないための取り組みを行っている。	B	・「全校生徒の学校生活の充実を目指す」を基本とし、問題を未然に防ぐことができるよう指導する。学校生活全体を通じて、個々の目標達成と人格の成長の支援に努める。	・近年挨拶がしっかりしている生徒とそうでない生徒の差が見られる。 ・校外でも秋商の誇りをもって行動してほしい。
保健	校内の安全・美化、および生徒を取り巻く環境の整備 感染症予防の取り組みの充実	・計画的な大清掃とともに、各行事の前には全職員で環境整備にあたっている。 ・全校一斉除菌活動を実施した。	A	・感染症予防として、年間を通じての注意喚起や、手洗いうがい ・回し飲みをしないことなどを呼びかける。	・特になし
教育相談	生徒の健全育成と心身の諸問題の解決に向けた積極的な支援	・心の健康教室・薬物乱用防止教室・性教育講座等を実施し啓発に努めた。職員研修で教員の資質向上にも取り組んだ。	A	・特別な支援を必要としている生徒に適切な支援を行う道筋を作る取り組みを進める。	・特になし
特別活動	特色ある学校行事・部活動の支援 全校生徒の参加による自主的・創造的生徒会活動の支援	・学年部との連携を図り理解と協力を得るため、主任・副主任がコーディネーターを務めた。 ・全国産フェアに対する執行部の負担が大きく、年間の各種業務に手が回りきれなかった。	A	・行事・部活動・学習の両立を図り、練習環境の整備にも努める。 ・過度な負担が生じないように、調整しながら生徒会活動を進める。	・運動部の活躍は目を見張るものがある。 ・AKISHOP は更に充実したものにしてほしい。
図書	情報センターとしての図書館利用の活性化	・新しいパソコン導入を含め、環境の充実に努めている。 ・入学時、国語科の協力で「図書館オリエンテーション」を行った。	A	・本との出会いの場としての機能を果たす図書館作りを目指し、広報活動に努める。	・特になし
家庭地域	教育の情報化推進、および家庭に対する積極的な情報発信と広報活動	・各分掌からの連絡や学校行事等の情報を、メールやホームページで随時発信することができた。	A	・全職員が広報や連絡ができるようマニュアル化していきたい。	・HP はこまめに更新され、情報発信ができています。